

萱瀬☆物語

大村市立萱瀬小学校

学校だより 第35号

令和5年8月30日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

挑戦する子どもを育てたい！

まだまだ残暑厳しい中ですが、一昨日から2学期がスタートし、8月中は午前中のみ授業を行っています。(給食を食べてから下校)。新しいALTの先生も着任しました。早速6年生と楽しく学習していました。



さて、先日の始業式で全校児童に次のような話をしました。3枚のカードを用意し、まず1枚を見せました。

成功 そして尋ねました。この言葉は、「せいこう」と読みます。では、成功の反対は何でしょうか。心の中で考えてください。そう言って次のカードを見せました。**失敗** このカードは「しっぱい」と読みます。成功の反対は失敗だと思った人と聞くと、子供たちの多くが賛成しました。

成功

失敗

そうですね。辞書にもそう書いてあります。でも、成功の反対の言葉は他にもあると校長先生は思います。

挑戦しないこと

「成功」の反対は**挑戦しないこと**です。挑戦しなければ成功することはありません。挑戦するからこそ失敗することもあります。挑戦することが、成功に、そして成長につながると思います。だから、2学期は、みなさんに挑戦する心をもってほしいと思います。

その心を「2学期の目標」で表してほしいと考えています。

みなさん一人一人が、2学期に頑張ることを決め、挑戦することです。教室で、2学期に頑張ること・目標を考えるとと思います。勉強のことでもスポーツのことでも、2学期にある行事のことでもいいです。友達と仲良くすることでもいいです。目標を決めてください。目標をもって挑戦すると、毎日がもっと楽しくなり、充実します。

☆子供たちがどんな目標を決めるか、それに向かって挑戦する子供たちを応援したいと思っています。

児童の作文発表(8月28日 始業式にて)を紹介します。

「りっぱな高学年になるために」 4年 男子児童

ぼくは、1学期を振り返り2学期に何をがんばるかを考えました。

1つ目は、算数です。特にわり算の筆算の時は、わり算のミスをしていました。その原因は、たしかめ算をしていなかったり、見直しをしていなかったりというものでした。だから、問題をといた後は、必ずたしかめ算をしたり見直しをしたり等の工夫をして、少しでも計算ミスを減らせるようにがんばります。

2つ目は、漢字の50問テストについてです。1学期では100点ではないものもいくつかありました。そのときは、とても後悔してぐちゃい気持ちでした。だから2学期はテスト勉強をたくさんして、100点をとれるようにがんばりたいと思います。

3つ目は、1つ1つの行事です。1学期は避難訓練の行事がありました。でもぼくは避難をするときに友達としゃべっていました。なんでしゃべったりしたらいけないのかというと、もし本当に避難をするとなった時や、火事が起きた時のための練習なので、真面目に取り組まないといけないからです。だから、これからは、1つ1つの行事に真面目に取り組んでいこうと思います。

最後に、自分から進んでいい事をする事です。1学期はそうじやお手伝いを少ししかしていませんでした。だから、これからは1つでも多く良いことを見つけてしていきたいです。

そして、2学期からはりっぱな高学年になるための準備をしていきたいと思っています。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。家庭の日とは、家族そろっての団らんの機会を増やすことによって、愛情と信頼に結ばれた温かい家族関係を育てる契機とするための日です。長崎県では、「ココロねっこ運動」の取組の一つとして「家庭の日」を推進しています。家族の時間を大切にしたいですね。

たとえば、こんな「家庭の日」を 家族みんなで話合いやだんらんの時間を持ちましょう。

一日一回は、家族全員が集まり、楽しく話しながら、和やかでうるおいのある生活を送りましょう。子供の話を最後まで聞いてあげる心のゆとりを持つことが大切です。何でも話せる信頼関係をつくり、子供の発する注意信号を見のがさないようにしましょう。

家族みんなで食事をする機会を持ちましょう。

食事の時間は、ゆっくりと家族がおしゃべりできる大切なひとときです。みんなが顔を合わせると、子供は喜び、食事はさらにおいしくなるでしょう。

家族みんなで協力しましょう。

家族で楽しみながら、力を合わせて一つの仕事をやりとげましょう。家事をみんなで分担して、家族が共に助け合いながら生活している意識や責任感を育てましょう。

家族みんなで楽しむ時間を持ちましょう。

家族全員が集まったら、愉快地過ごしましょう。明るく楽しい茶の間づくりを考えて、笑顔あふれる時間をつくりましょう。

晴れた日には、暑さ対策をしながら、外へ出て、家族で一緒にハイキングやスポーツ、レクリエーションを楽しみましょう。また、家族で音楽を聴いたり、本を読んだり、映画を見たりすばらしいものに感動する心を育てましょう。

家族みんなで地域での行事に参加しましょう。

親子で地域の行事に参加し、地域の方々と交流を深めましょう。子供にとって、いろいろな年齢の友達とつきあうことは、大切な経験となり、社会性が育っていきます。地域においても、親子で参加できる行事を積極的に進めましょう。（新型コロナウイルスの対策・熱中症対策には配慮してください。）

すこやかな成長を願って

子供たちを健やかに育てることは、親の義務であり、私たち大人の責任でもあります。その基盤となるのは、家庭です。家庭が「憩いの場」「教育の場」「明日の力を生み出す場」となるよう、この「家庭の日」運動を進めていきましょう。